

こんにちは!

隠岐の島町 関西ふるさと会

です。

近畿地方で活動される各島根県人会・市町村人会のご紹介です。
第12回は、**隠岐の島町関西ふるさと会**のご紹介です。



隠岐の島町関西ふるさと会
会長 米澤功

島根半島の北方、沖合に隠岐諸島があり、ほぼ円形をしている最大の島「島後」と呼ばれる島が私たちの故郷であります。平成16年10月に平成の大合併の渦の中、島内の1町3村が合併して隠岐の島町が誕生しました。

当時、関西には島後出身者で活動するふるさと会が6団体ありましたが新しくできた行政側から一本化にできないかと申し出を受けました。それぞれ歴史を持ち中には半世紀以上の活動を展開している組織もある中、苦渋の判断を求め協議を重ねる事9年間を経て平成25年春に行政の要請に応える事が望ましいと(1団体は存続)5団体で新組織「隠岐の島町関西ふるさと会」を発足させ2年が経

過した所です。現在は役員48名会員数が800名を超えての活動です。

ふるさと会の目的は会員相互の親睦、交流であり、更にふるさと隠岐のPRを推進、送客活動をする事で、運営については当然の事ながらボランティアで手弁当です。

隠岐の島町の町づくり基本条例の一文に「みんなのことを、みんなで考え、みんなの為に行動」とあります。私共ふるさと会もその精神を忘れず郷土の為に可能な限り手伝い応援を続けてまいります。

去る、6月21日太閤園に於いて第2回の総会を開催。当日は故郷でウルトラマラソンの第10回記念大会があったにも拘らず多数のご出席を頂き



第2回総会(太閤園にて)



隠岐の旅(隠岐空港)

220名が集いました。

第2部の懇親会では会員でありながら関西で教室を開くなど活躍している面々がフラダンス、民謡にわか芸など時間に切れ目が無いほど豊富な演目を披露して参加者を楽しませてくれました。(これも手弁当の一環です)

隠岐世界ジオパーク(大地の成り立ち、独自の生態系、人の営み)に認定された隠岐諸島を大勢の人に観光して頂くためには関西と隠岐を繋ぐ情報の二本化が必要となりUターン者(会員)を中心に隠岐本部を立ち上げました。

行政の窓口、観光協会とも連携を取り合い情報も共有し、幅広い活動が可能となり、嬉しい事に誘客数は260名を超えています。これは出郷者(会員)の皆さんが趣味で知り合った仲間、会員が居住する自治会の住民、県人会の皆様が知人に輪を広げて頂いた結果です。今後とも隠岐探訪の皆様をお待ちしながら故郷を応援してゆきます。

隠岐の島町関西ふるさと会事務局

〒571-0058 門真市小路町19-6
事務局長 戸田 春夫
TEL:06-6908-1836